

補助事業番号 25-1-95
補助事業名 平成25年度 検診車の整備 補助事業
補助事業者名 公益財団法人 岩手県対がん協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

検診車を整備・充実することによって、県民ががん検診を受診する機会を増やし、受診率向上に寄与します。また、古い機器を更新することによって、故障などに左右されない安定した精度の高い検診を実施します。

(2) 実施内容

胃部X線デジタル検診車 (<http://www.i-taigan.jp/?p=2129>)



従前から制作し稼働している胃がん検診車をベースに、車両後部の待合室や収納スペースに工夫を施しました。



最新鋭のデジタルX線撮影装置を搭載しております。また、デジタル画像処理装置の免震機能を改良し、走行時の振動により対応できるようにしました。

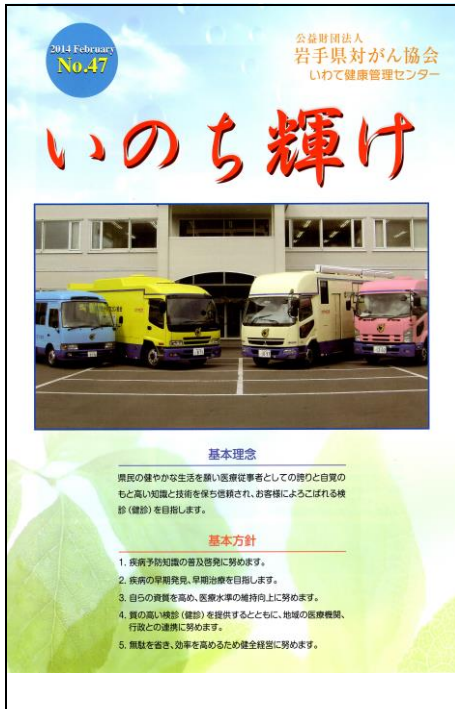
2 予想される事業実施効果

デジタルX線撮影装置により、フィルムレスによる経費削減や、読影医への搬送時の省力化と保存場所の省スペース化が図れます。また、発電機を搭載したことにより、準備時間が短縮されるなど、受診者の利便性が増し受診者増が期待できます。

3 印刷物等

本事業に係る印刷物等

当協会機関誌「いのち輝け」（平成26年2月10日発行）に掲載し、市町村・事業所・保健所等の関係機関へ送付しました。



検診車を新たに整備しました

●**胃がん検診車**
最新のデジタル式X線撮影装置を搭載した検診車です。この検診車は、公益財団法人JKAより補助を受け製作しました。JKAは公益の増進を目的とする事業の振興に寄与することを目的とした補助事業を行っており、その事業の補助対象となり補助を受けました。補助車両の自印は、車体の随所マークになりますので、今後検診を受ける際はチェックしてみてください。

●**乳房超音波検診車**
県内の乳房超音波検査専用の検診車です。建物内に検査室を設置することなく、検診車で検査ができるようにと製作しました。車両1台に、検査室を2室と3〜4人が座れる待合室を設け、検査室は広めでゆったりと受診できます。乳房超音波検査は、マンモグラフィ検査では分かりにくい若年者の乳腺に有効な検査であり、乳房を圧迫する必要がないため痛みもないことから、今後受診者の増加が見込まれております。この検診車により1人でも多く乳がんから守り、みなさまによろこばれるものになりたいと思います。

年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度(12月現在)
受診者(名)	196	210	271	414	958	1,720	1,968

●**矢野町健康福祉まつり**
-日時 10月20日
-場所 矢野町保健福祉交流センター
-主催 矢野町 矢野町社会福祉協議会
矢野町生いきまちづくり委員会
*自己検診モデルやパネルを展示しました。

●**いちのへいきいきフェスタ2013**
-日時 11月23日
-場所 一戸町民文化センター 体育館
-主催 一戸町 一戸町教育委員会
*保健師がトークショーに参加しました。

●**絆プロジェクト「ピンクリボンプラザin岩手」**
-日時 11月26日
-場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)
-主催 乳房健康研究会
*乳房自己検診の指導を行いました。

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 岩手県対がん協会

(コウエキザイダンハウジン イワテケンタイガンキョウカイ)

住所： 〒020-0834

岩手県盛岡市永井14-46

代表者： 理事長 小川 彰 (オガワ アキラ)

担当部署： 総務課 (ソウムカ)

担当者名： 課長 小林 秀隆 (コバヤシ ヒデタカ)

電話番号： 019-637-2966

F A X： 019-637-2958

E-mail： soumu@i-taigan.jp

U R L： <http://www.i-taigan.jp/>